

# スキルアップ！ 情報検索

## —基本と実践 新訂第2版

中島 玲子・安形 輝・宮田 洋輔 著

A5・200頁 定価(本体2,450円+税)

ISBN978-4-8169-2862-8 2021年1月刊行

- 卒論やレポート執筆に欠かせない情報検索のスキルを高めるためのテキストです。『スキルアップ！ 情報検索—基本と実践』(2017.9刊)の新訂版。
- 初版読者からのコメントを参考に構成を見直し、初版出版からの3年間に登場した新たなサービスおよびシステム更改にも対応しています。
- 基本的な事項だけでなく、検索上級者にも参考になるコラムや豆知識を要所に配置。検索のヒントやオプション的な使い方も豊富に掲載しました。
- 検索した情報の真偽を見極め、情報を正しく評価し識別するための検証方法についても具体的な例をあげて解説しています。

【著者プロフィール】

中島 玲子 なかじま・れいこ  
慶應義塾大学文学部非常勤講師／〔共著〕情報検索演習 (JLA図書館情報学テキストシリーズ 2-6)

安形 輝 あがた・てる  
亜細亜大学国際関係学部教授／〔共著〕情報検索演習 (JLA図書館情報学テキストシリーズ 2-6)

宮田 洋輔 みやた・ようすけ  
慶應義塾大学文学部助教／〔共著〕メタデータとウェブサービス 勉誠出版 2016 (わかる！ 図書館情報学シリーズ3)

【目次】

まえがき  
凡例

第I章 情報検索 基本編

1. 情報を検索するとは
2. データベースと検索の仕組み
3. データベースには得意分野がある
4. サーチエンジンの使い方
5. 検索には戦略がある

第II章 情報検索 実践編

1. 図書を探す
2. 雑誌記事を探す
3. 新聞記事を探す
4. 統計情報を探す
5. 公的な資料、法律、判例を探す

第III章 情報検索 応用編

1. 転置索引ファイル
2. 形態素解析とNグラム
3. 忘れられる権利
4. リンク・リゾルバ
5. まとめて探す？ 個別に探す？
6. 引用文献検索
7. 査読論文
8. 「調べ方案内」を活用する
9. Webの検索に向かない情報
10. 情報収集にSNSを活用しよう

第IV章 検索裏ワザ お役立ち情報編

1. フィールド別に検索しよう より的確に調べる
2. 検索語の数はひかえめに 検索漏れを減らす
3. より広く適したものを探す 論理和や上位概念の活用
4. ゆるやかに探してキュッと締める 制限検索の有用性
5. ソレじゃないのを探したい 論理差で検索ノイズを減らす
6. ないと思えば見つからない 結果はクールに眺めよう
7. フィードバックの活用 検索に使える言葉を見つけよう
8. オリジナル情報は早い！ 正確！ Web情報で原典にあたる
9. 失われたWebページを求めて Webアーカイブを使ってみる
10. 日本語だけに頼らない 英語は英語で検索しよう
11. 機械翻訳を使いこなす 日本語を各言語へコッ
12. あの言葉で見つきたい 図書を全文検索する
13. 誰のために調べるのか 代行検索のポイント
14. 検索は何をもって成功なのか？ 検索評価の観点を

索引

2020.12

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

スキルアップ！ 情報検索  
—基本と実践 新訂第2版

定価(本体2,450円+税) ISBN978-4-8169-2862-8

冊



9784816928628

## 5 検索には戦略がある

### 敵を知って抜かりなく

#### 検索戦略とは

以前に比べると情報検索の操作は簡便になり、特にサーチエンジンは、思い立ったらすぐアクセスして検索をスタートできます。何かしらの検索語を入力すれば、関連のありそうな検索結果がたくさん表示されます。しかし、それらが本当に欲しい情報と合致しているとは限りません。

孫子の兵法に「彼を知り、己を知れば百戦して危うからず」というのがあります。兵法というとちょっと大げさですが、検索にも戦略があります。手あたり次第に検索するのではなく、敵を知り、策を練り、抜かりなく検索することが、効率よく適切な情報の入手につながります。

#### 検索目的の明確化

検索を始める前に、調べたいテーマを決めて、どんな情報をどのぐらい知りたいのかを明確にします。

例えば、「夏目漱石について知りたい」とします。夏目漱石について多

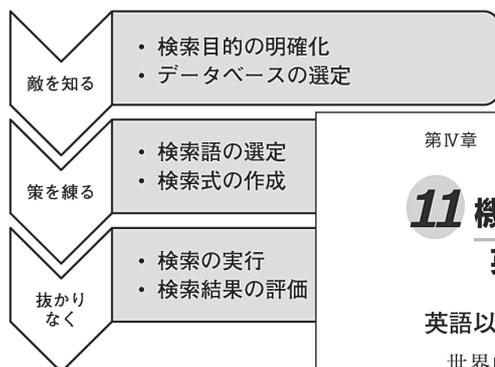


図1-5-1 検索戦略の

「第I章 情報検索 基本編」より

#### 第IV章 検索裏ワザ お役立ち情報編

## 11 機械翻訳を使いこなす

### 英語を橋渡しに翻訳

#### 英語以外の言語で書かれたページを使う

世界中のWebページの半数以上が英語ということは、半数近くは、日本語と英語以外の現地語（＝外国語）ということです。英語版ページを併用しているサイトでも、翻訳にかかるコストの問題から英語版は必要最低限の情報になっている場合もあり、詳細に調べるには現地語のページを参照する必要も出てきます。

情報を探す際は、できるだけ信頼性のあるサイトを利用するべきですが、検索の途中で個人のブログなどで情報の手がかりを見つけることもあります。最近は若い人たちを中心に、サーチエンジンではなく、InstagramやTwitterなどでファッションや流行の情報を探すが増えてきました。個人が発信するこれらの情報の方が、旬の情報をリアルタイムに見つけられるからです。世界各地で個人が自由に情報発信しているページの多くは、彼らの母語で書かれているでしょう。

求めている情報が英語以外の外国語で書かれている場合、英語ですらハードルが高いのに、その内容をどのように読解すればよいでしょう。

#### 機械翻訳機能を利用する

Web上の機械翻訳は、サーチエンジンに付随した機能のほか、独立した翻訳サイトなどいくつかのサービスがあります。はGoogle翻訳(<https://translate.google.co.jp/>)は、日本語、英語、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語などの100言語以上に対応しています。また、DeepL翻訳(<https://www.deepl.com/>)は口語も含めて翻訳精度に定評があります。どちらのサービスも使い方は、翻訳させたい文を入力またはコピー・アンド・ペーストすれば、文単位で翻訳することのブラウザでは現在表示しているWeb

「第IV章 検索裏ワザ  
お役立ち情報編」より